

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防庁舎大規模改造工事及び実施設計事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	総務課

<b>事業目的・概要</b>
消防防災の拠点となる消防庁舎及び設備を適正に維持管理し、職場環境の充実を図る。

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
消防庁舎改修工事達成 (梶木消防署大規模改造工事及び吉田消防署改修工事实施設計)	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
梶木消防署大規模改造工事 4月起工予定 5月入札予定 2月完成予定 吉田消防署大規模改修工事实施設計業務委託 4月起工予定 7月入札予定 3月完成予定	梶木消防署大規模改造工事については、令和2年4月に起工、5月に入札を行い仮契約を実施し、6月議会にて可決され本契約を交わす。令和3年2月22日に工事が完了した。 吉田消防署大規模改修工事实施設計業務委託については、令和2年4月に起工し、7月に入札を行い本契約を交わす。令和3年3月19日に設計が完了した。	A (予定どおり進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	消防防災の拠点となる消防庁舎の適正な維持管理及び老朽化した庁舎の改修工事等を計画的に実施する。なお、令和3年度は、吉田消防署大規模改修工事及び、戸頭消防署の改修に伴う実施設計を行う。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				改修工事対象の庁舎規模減少によるもの。
	県支出金				
	地方債	191,400	190,800	132,100	
	その他	10,120	28	6,990	
	一般財源			741	
事業費計(A)		201,520	190,828	139,831	<b>協働の取組・方向性</b>
人件費	正規職員数	5	5	5	協働の余地はない。
	業務時間	1,000	910	1,000	
	その他職員人件費	220	0	0	
人件費計(B)		3,385	2,901	3,171	
トータルコスト(A+B)		204,905	193,729	143,002	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	職員の人材育成事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	総務課

<b>事業目的・概要</b>
<p>教育機関で行われる専門的な研修や講習会へ適任者及び意欲のある職員を計画的に参加させ、教養や訓練を通し、習得した消防に関する知識・技術を消防職員に継承させ、人材育成を図る。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
研修及び講習会の受講状況 受講参加者からの教養訓練の実施状況	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 研修希望者募集</li> <li>・5月 研修者決定・計画書作成</li> </ul> <p>通年 研修、講習会参加者による帰庁後、職員へ教養の実施。</p>	<p>研修、講習会の派遣については、新型コロナウイルス感染症の影響により研修計画の変更がなされ、開催された研修や講習会については予定どおり実施され、帰庁後の教養についても参加者の全員が教養訓練を完了した。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	<p>本研修により、消防業務において必要な資格を取得させ、複雑多様化する各種災害に対する知識・技術をその他の職員に継承することにより、市民の安全安心に寄与する。</p>

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響により、研修中止や受講者数枠の減員があったため。
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	479	627	
	一般財源	2,112	2,704	
事業費計(A)	0	2,591	3,331	<b>協働の取組・方向性</b>
人件費	正規職員数	5	5	協働の余地はない。
	業務時間	684	700	
	その他職員人件費			
人件費計(B)	0	2,181	2,220	
トータルコスト(A+B)	0	4,772	5,551	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防団運営事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	総務課

<b>事業目的・概要</b>
<p>地域防災力の中核として大きな役割を果たす消防団員の服務、福利厚生、表彰、各種会議、教養訓練等に関する運営を実施するとともに、効果的な入団促進活動を展開し、地域防災体制の強化を図る。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
消防団員の充足率	%	92.0	92.0	93.0	94.0	95.0

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団車庫改修工事 8月改修工事起工 11月改築工事完了</li> <li>・消防団員入団促進活動 9月ポンプ操法大会 11月消防フェスタ、ネットワークフェア 1月消防出初式、成人式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した消防団車庫1棟の改修が11月に終了し、計画的に事業を進めることができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により計画が変更され、1月から3月までの「消防団員入団促進強化月間」に、各地域(消防団車庫や消防団応援の店)において、ポスターの掲示やのぼり旗等の掲出を行うことで、入団促進活動が実施できた。</li> </ul>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	地域防災の中核であり代替性のない存在の消防団については、今後ますます危惧される大規模災害発生時の対応能力の維持のため、継続する事業である。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	—	—	—	工事規模が減少したことから、減額した。
	県支出金	—	—	—	
	地方債	3,800	1,200	—	
	その他	481	483	—	
	一般財源	0	0	500	
事業費計(A)		4,281	1,683	500	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	5	5	5	大規模災害が多発する中、地域の防災組織との協働により消防団員の確保に努め、地域防災力の向上につなげる。
	業務時間	1,500	770	1,000	
	その他職員人件費	220	234	220	
人件費計(B)		4,968	2,689	3,391	
トータルコスト(A+B)		9,249	4,372	3,891	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	防火対象物や危険物施設への防火指導事務事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	予防課

<b>事業目的・概要</b>
<p>市民が安全に安心して暮らせる環境を整えることを目的として、消防法令に基づき、危険物施設の運営や防火対象物の防火防災管理について適正な指導を実施するとともに、計画的な立入検査により危険物施設、防火対象物における法令違反や不備事項の是正指導を実施する。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
危険物施設事故件数	件	0	0	0	0	0
防火対象物火災件数		4	6	0	0	0

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
危険物施設の許認可事務(通年) 年間査察計画により立入検査実施	<p>年間を通じて、危険物施設の許認可や検査事務を適正に実施できた。</p> <p>危険物施設と防火対象物の立入検査については、新型コロナウイルス感染症の影響から計画を変更し、感染症対策を実施しながら必要な部分の検査を行い指導することができた。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	業務目的を達成するため、今後も継続して実施する。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)		0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	6	6	6	消防法に基づく規制や指導事務であり、協働の余地はない。
	業務時間	2,500	2,458	2,500	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)		7,913	7,836	7,928	
トータルコスト(A+B)		7,913	7,836	7,928	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	住宅防火推進事務事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	予防課

<b>事業目的・概要</b>
<p>住宅火災による死者数の減少を目的として、広報誌、ホームページ、各種イベント等における広報指導や署員による訪問指導を実施し、住宅防火対策及び住宅用火災警報器設置、維持管理の推進を図る。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
住宅火災件数(住宅火災による死者数)	件	6 (1)	6 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>市政協力員会議でのPR(4月)、広報とりで・市ホームページでの広報(随時)、消防署員の訪問指導(11月から2月)、こども天国(4月)、市内小学校へアンケート調査(10月)、産業まつり(11月)、消防フェスタ(11月)、ネットワークフェア(11月)での広報。</p> <p><b>【進捗管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月住宅用火災警報器設置状況調査報告</li> <li>・7月総務省消防庁による全国調査結果発表</li> <li>・3月住宅用火災警報器設置状況調査集計</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、各種イベント等が中止になったことから実施計画を変更し、市の広報媒体での活動や市内小学校へのアンケート調査など新型コロナウイルス感染症の影響がない事業を実施し指導することができた。</p> <p>住宅用火災警報器の設置調査結果についても、前年より設置率の向上が見られた。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	事業目的を達成するため、今後もあらゆる機会をとらえて広報活動を実施する。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)	0	0	0	<b>協働の取組・方向性</b>	
人件費	正規職員数	7	7	7	<p>現在は、消防団や婦人防火クラブ等に協力を依頼しているが、他の団体にも広げていきたい。</p>
	業務時間	280	56	280	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)	886	179	888		
トータルコスト(A+B)	886	179	888		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防車両整備事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	警防課

<b>事業目的・概要</b>
消防車両等の適正な機能維持のため、整備計画に基づき車両更新を行い、各種災害対応に万全を期する。

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
整備計画に基づく車両更新	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・常備消防ポンプ自動車                             <ul style="list-style-type: none"> <li>5月仮契約</li> <li>6月本契約</li> <li>10月中間検査</li> <li>12月引き渡し</li> </ul> </li> <li>・消防団ポンプ自動車・小型動力ポンプ付積載車                             <ul style="list-style-type: none"> <li>4月本契約</li> <li>8月・1月中間検査</li> <li>9月・3月引き渡し</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取手市消防本部車両整備計画に基づく、取手消防署のポンプ自動車更新については、4月に入札を行い仮契約、6月議会で可決され本契約を交わす。9月に中間検査を行い、11月24日に納車される。</li> <li>・取手市消防団車両整備計画に基づく、第6分団ポンプ自動車と第31分団小型動力ポンプ積載車の更新については、4月に入札を行い契約を交わす。ポンプ車にあっては8月に中間検査を行い、9月4日に納車される。また、小型ポンプ積載車にあっては、令和3年2月に中間検査を行い、令和3年3月25日に納車される。</li> </ul>	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	災害対応に万全を期するため、消防車両整備事業を継続する。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	14,818	10,078		令和2年度は、令和元年度の更新車両台数に変わりはなかったが、車両の金額が低かったことで減額となっている。また、令和元年度には、車両修繕及び車検費用等を含めていたが、令和2年度からは車両整備(更新)事業のみの金額としたことも減額の要因となる。
	県支出金				
	地方債	49,400	48,600	50,200	
	その他				
	一般財源	26,370	3,624	2,827	
事業費計(A)		90,588	62,302	53,027	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	6	5	5	協働の余地はない。
	業務時間	1,500	1,500	1,500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		4,748	4,782	4,757	
トータルコスト(A+B)		95,336	67,084	57,784	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防水利整備事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	警防課

<b>事業目的・概要</b>
<p>消火活動に必須となる消防水利を整備計画等に基づき設置するとともに、火災発生時に備え管内すべての消防水利を年に2回調査を実施し、消防水利の状況把握に務める。なお、修繕等が必要な施設については順次改修する。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
消防水利の新規設置及び維持管理	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防水利の維持管理 4月・10月の定期点検報告に応じた修繕</li> <li>・新設消火栓設置2基</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検に応じた修繕は、消火栓4箇所及び防火水槽10箇所を実施することができた。また、市民から相談を受けた消火栓3箇所の修繕を実施することができた。</li> <li>・新設水利については、消火栓1基を設置することができた。</li> </ul>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	消火活動上必要な施設であることから、既設消防水利の適正な維持管理及び新設消防水利の設置を継続していく。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	1,820			令和元年度に、地上式耐震性貯水槽の設置工事を行っていたが、令和2年度は防火水槽の設置工事がなかったため減額となる。
	県支出金				
	地方債	7,100			
	その他				
	一般財源	4,986	7,260	4,711	
事業費計(A)		13,906	7,260	4,711	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	6	5	5	協働の余地はない。
	業務時間	2,000	2,000	2,000	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		6,330	6,376	6,342	
トータルコスト(A+B)		20,236	13,636	11,053	



## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	救急救命士養成事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	警防課

<b>事業目的・概要</b>
<p>救急活動体制の充実を図るため、適任者の中から新規救急救命士及び指導的立場の救急救命士を養成する。また、既に資格取得救急救命士に対する気管挿管病院実習や再講習再教育を受講させ、救急救命士の質の向上を図る。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
救急救命士数	人	40	42	41	42	43

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急救命士資格取得1名</li> <li>・気管挿管病院実習3名</li> <li>・基本特定行為再講習6名</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、関係機関からの計画変更で救急救命士資格取得に派遣することができず、また気管挿管実習は3名から2名となった。変更後の気管挿管実習2名及び、当初予定の基本特定行為再講習6名については計画どおりに派遣することができた。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	救急救命士資格者の退職等により、今後も計画的な新規救急救命士の養成及び再教育を継続する。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和2年度は、救急救命士資格取得を1名及び気管挿管実習3名を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、関係機関からの計画変更で救急救命士資格取得に派遣することができず、また気管挿管実習は3名から2名になったため減額となる。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,263	612	5,181	
事業費計(A)		3,263	612	5,181	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	6	5	5	協働の余地はない。
	業務時間	1,000	1,000	1,000	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		3,165	3,188	3,171	
トータルコスト(A+B)		6,428	3,800	8,352	



## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防隊員・救急隊員の育成						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	取手消防署

<b>事業目的・概要</b>
<p>複雑多様化する各種災害に的確・効果的に対応するため、訓練計画等に基づき訓練や教養を実施し、各隊員の知識・技術の向上を図る。また、すでに資格取得の機関員に対する再教養及び、新規機関員を養成し消防力の維持向上を図るもの。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
訓練計画及び育成・養成プログラムに対する達成率	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日課行事に基づいた毎日訓練</li> <li>・二署合同、三署合同訓練</li> <li>・その他災害教養訓練</li> <li>・機関員育成・養成プログラムに基づき実施する。</li> </ul> <p>4月 機関員の育成・養成計画作成 5月～令和3年2月 訓練期間 9月・3月 効果測定(合否判定)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、署内で活動することが多くなったことから、各署所で数多くの訓練を実施することができた。さらに、警防活動基本訓練や救急活動連携訓練を実施し、最終的にシミュレーション形式の展示を行ったところ、各隊の連携や個人の知識及び技術の向上が図られた。</p> <p>また、すでに機関員資格を有する職員の再教育及び新任機関員の養成により消防力の維持向上が図られた。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	消防力維持向上のため、継続が必要な事業である。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)		0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	16	16	16	協働の余地はない。
	業務時間	3,588	6,476	6,000	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)		11,356	20,645	19,026	
トータルコスト(A+B)		11,356	20,645	19,026	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	応急手当普及啓発事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	取手消防署

<b>事業目的・概要</b>
<p>市内在住・在勤の方々に救命講習会への参加を推進し、応急手当の重要性やAED取扱いを含めた救命処置の知識・技術を習得させ、救命率の向上を目指す。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
救命講習会受講者数	人	1,310	381	400	1,500	1,500

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期救命講習会（毎月第1・第3木曜日及び第2・第4日曜日）</li> <li>・事業所等における救命講習会</li> <li>・各種防災訓練時の応急手当講習会</li> <li>・広報紙及びホームページ等で講習会開催案内</li> </ul>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定期救命講習会の開催については、開催を中止、または規模を縮小するなど計画を見直した。さらに、各地域の防災会訓練についても、計画の見直しが行われたことから、例年よりは受講者数は減少したが、見直された計画どおりに講習会および訓練を開催し、計画どおりの参加者数が受講した。</p> <p>*R3年度の成果指標については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、R2年度と同じ態勢での開催が考えられることを想定しての目標値とした。</p>	<p style="margin: 0;">A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	救命率向上のため、一人でも多くの方々に心肺蘇生法やAEDの取り扱い及び、応急手当の知識・技術を習得してもらうため、継続事業とする。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	16	16	16	職員とボランティア指導員及び、女性消防団員の協働により講習会を進める。
	業務時間	408	128	200	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)	1,291	408	634		
トータルコスト(A+B)	1,291	408	634		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防水利の維持管理事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	取手消防署

<b>事業目的・概要</b>
火災時に必要な消防水利を常時使用可能な状態にするため定期的に点検し、適正な維持管理に努める。

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
すべての消防水利に対する点検率	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、5月 消防水利点検</li> <li>・6月、7月 消防水利修繕</li> <li>・9月、10月 消防水利点検</li> <li>・11月、12月 消防水利修繕</li> <li>・冬季、凍結防止対策実施</li> </ul>	すべての消防水利について、年次計画に基づき点検を実施し、点検結果を担当課へ報告するとともに、不備な箇所については、補修し適正な維持管理に努めた。	A (予定どおり進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	消防水利を適正に維持管理するために継続する。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	16	16	16	協働の余地はない。
	業務時間	960	960	960	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	3,038	3,060	3,044		
トータルコスト(A+B)	3,038	3,060	3,044		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防隊員・救急隊員の育成						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	戸頭消防署

<b>事業目的・概要</b>
<p>複雑多様化する各種災害に的確・効果的に対応するため、訓練計画等に基づき訓練や教養を実施し、各隊員の知識・技術の向上を図る。また、すでに資格取得の機関員に対する再教養及び、新規機関員を養成し消防力の維持向上を図るもの。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
訓練計画及び育成・養成プログラムに対する達成率	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日課行事に基づいた毎日訓練</li> <li>・二署合同、三署合同訓練</li> <li>・その他災害教養訓練</li> <li>・機関員育成・養成プログラムに基づき実施する。</li> </ul> <p>4月 機関員の育成・養成計画作成 5月～令和3年2月 訓練期間 9月・3月 効果測定(合否判定)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、署内で活動することが多くなったことから、各署所で数多くの訓練を実施することができた。さらに、警防活動基本訓練や救急活動連携訓練を実施し、最終的にシミュレーション形式の展示を行ったところ、各隊の連携や個人の知識及び技術の向上が図られた。</p> <p>また、すでに機関員資格を有する職員の再教育及び新任機関員の養成により消防力の維持向上が図られた。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	消防力維持向上のため、継続が必要な事業である。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)		0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	7	7	7	協働の余地はない。
	業務時間	3,588	6,476	6,000	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)		11,356	20,645	19,026	
トータルコスト(A+B)		11,356	20,645	19,026	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	応急手当普及啓発事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	戸頭消防署

<b>事業目的・概要</b>
<p>市内在住・在勤の方々に救命講習会への参加を推進し、応急手当の重要性やAED取扱いを含めた救命処置の知識・技術を習得させ、救命率の向上を目指す。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
救命講習会受講者数	人	1,310	381	400	1,500	1,500

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期救命講習会（毎月第1・第3木曜日及び第2・第4日曜日）</li> <li>・事業所等における救命講習会</li> <li>・各種防災訓練時の応急手当講習会</li> <li>・広報紙及びホームページ等で講習会開催案内</li> </ul>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定期救命講習会の開催については、開催を中止、または規模を縮小するなど計画を見直した。さらに、各地域の防災会訓練についても、計画の見直しが行われたことから、例年よりは受講者数は減少したが、見直された計画どおりに講習会および訓練を開催し、計画どおりの参加者数が受講した。</p> <p>*R3年度の成果指標については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、R2年度と同じ態勢での開催が考えられることを想定しての目標値とした。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	救命率向上のため、一人でも多くの方々に心肺蘇生法やAEDの取り扱い及び、応急手当の知識・技術を習得してもらうため、継続事業とする。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	7	7	7	職員とボランティア指導員及び、女性消防団員の協働により講習会を進める。
	業務時間	408	128	200	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)	1,291	408	634		
トータルコスト(A+B)	1,291	408	634		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防水利の維持管理事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	戸頭消防署

<b>事業目的・概要</b>
火災時に必要な消防水利を常時使用可能な状態にするため定期的に点検し、適正な維持管理に努める。

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
すべての消防水利に対する点検率	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、5月 消防水利点検</li> <li>・6月、7月 消防水利修繕</li> <li>・9月、10月 消防水利点検</li> <li>・11月、12月 消防水利修繕</li> <li>・冬季、凍結防止対策実施</li> </ul>	すべての消防水利について、年次計画に基づき点検を実施し、点検結果を担当課へ報告するとともに、不備な箇所については、補修し適正な維持管理に努めた。	A (予定どおり進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	消防水利を適正に維持管理するために継続する。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	7	7	7	協働の余地はない。
	業務時間	960	960	960	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	3,038	3,060	3,044		
トータルコスト(A+B)	3,038	3,060	3,044		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防隊員・救急隊員の育成						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	吉田消防署

<b>事業目的・概要</b>
<p>複雑多様化する各種災害に的確・効果的に対応するため、訓練計画等に基づき訓練や教養を実施し、各隊員の知識・技術の向上を図る。また、すでに資格取得の機関員に対する再教養及び、新規機関員を養成し消防力の維持向上を図るもの。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
訓練計画及び育成・養成プログラムに対する達成率	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日課行事に基づいた毎日訓練</li> <li>・二署合同、三署合同訓練</li> <li>・その他災害教養訓練</li> <li>・機関員育成・養成プログラムに基づき実施する。</li> </ul> <p>4月 機関員の育成・養成計画作成 5月～令和3年2月 訓練期間 9月・3月 効果測定(合否判定)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、署内で活動することが多くなったことから、各署所で数多くの訓練を実施することができた。さらに、警防活動基本訓練や救急活動連携訓練を実施し、最終的にシミュレーション形式の展示を行ったところ、各隊の連携や個人の知識及び技術の向上が図られた。</p> <p>また、すでに機関員資格を有する職員の再教育及び新任機関員の養成により消防力の維持向上が図られた。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	消防力維持向上のため、継続が必要な事業である。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)		0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	7	7	7	協働の余地はない。
	業務時間	3,588	6,476	6,000	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)		11,356	20,645	19,026	
トータルコスト(A+B)		11,356	20,645	19,026	



## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	応急手当普及啓発事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	吉田消防署

<b>事業目的・概要</b>
<p>市内在住・在勤の方々に救命講習会への参加を推進し、応急手当の重要性やAED取扱いを含めた救命処置の知識・技術を習得させ、救命率の向上を目指す。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
救命講習会受講者数	人	1,310	381	400	1,500	1,500

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期救命講習会（毎月第1・第3木曜日及び第2・第4日曜日）</li> <li>・事業所等における救命講習会</li> <li>・各種防災訓練時の応急手当講習会</li> <li>・広報紙及びホームページ等で講習会開催案内</li> </ul>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定期救命講習会の開催については、開催を中止、または規模を縮小するなど計画を見直した。さらに、各地域の防災会訓練についても、計画の見直しが行われたことから、例年よりは受講者数は減少したが、見直された計画どおりに講習会および訓練を開催し、計画どおりの参加者数が受講した。</p> <p>*R3年度の成果指標については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、R2年度と同じ態勢での開催が考えられることを想定しての目標値とした。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	救命率向上のため、一人でも多くの方々に心肺蘇生法やAEDの取り扱い及び、応急手当の知識・技術を習得してもらうため、継続事業とする。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	7	7	7	職員とボランティア指導員及び、女性消防団員の協働により講習会を進める。
	業務時間	408	128	200	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)	1,291	408	634		
トータルコスト(A+B)	1,291	408	634		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防水利の維持管理事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	吉田消防署

<b>事業目的・概要</b>
火災時に必要な消防水利を常時使用可能な状態にするため定期的に点検し、適正な維持管理に努める。

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
すべての消防水利に対する点検率	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、5月 消防水利点検</li> <li>・6月、7月 消防水利修繕</li> <li>・9月、10月 消防水利点検</li> <li>・11月、12月 消防水利修繕</li> <li>・冬季、凍結防止対策実施</li> </ul>	すべての消防水利について、年次計画に基づき点検を実施し、点検結果を担当課へ報告するとともに、不備な箇所については、補修し適正な維持管理に努めた。	A (予定どおり進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	消防水利を適正に維持管理するために継続する。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)		0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	7	7	7	協働の余地はない。
	業務時間	960	960	960	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)		3,038	3,060	3,044	
トータルコスト(A+B)		3,038	3,060	3,044	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防隊員・救急隊員の育成						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	栲木消防署

<b>事業目的・概要</b>
<p>複雑多様化する各種災害に的確・効果的に対応するため、訓練計画等に基づき訓練や教養を実施し、各隊員の知識・技術の向上を図る。また、すでに資格取得の機関員に対する再教養、及び新規機関員を養成し消防力の維持向上を図るもの。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
訓練計画及び育成・養成プログラムに対する達成率	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日課行事に基づいた毎日訓練</li> <li>・二署合同、三署合同訓練</li> <li>・その他災害教養訓練</li> <li>・機関員育成・養成プログラムに基づき実施する。</li> </ul> <p>4月 機関員の育成・養成計画作成 5月～令和3年2月 訓練期間 9月・3月 効果測定(合否判定)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、署内で活動することが多くなったことから、各署所で数多くの訓練を実施することができた。さらに、警防活動基本訓練や救急活動連携訓練を実施し、最終的にシミュレーション形式の展示を行ったところ、各隊の連携や個人の知識及び技術の向上が図られた。</p> <p>また、すでに機関員資格を有する職員の再教育及び新任機関員の養成により消防力の維持向上が図られた。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	消防力維持向上のため、継続が必要な事業である。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)		0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	10	10	10	協働の余地はない。
	業務時間	3,588	6,476	6,000	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)		11,356	20,645	19,026	
トータルコスト(A+B)		11,356	20,645	19,026	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	応急手当普及啓発事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	栲木消防署

<b>事業目的・概要</b>
<p>市内在住・在勤の方々に救命講習会への参加を推進し、応急手当の重要性やAED取扱いを含めた救命処置の知識・技術を習得させ、救命率の向上を目指す。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
救命講習会受講者数	人	1,310	381	400	1,500	1,500

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期救命講習会（毎月第1・第3木曜日及び第2・第4日曜日）</li> <li>・事業所等における救命講習会</li> <li>・各種防災訓練時の応急手当講習会</li> <li>・広報紙及びホームページ等で講習会開催案内</li> </ul>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定期救命講習会の開催については、開催を中止、または規模を縮小するなど計画を見直した。さらに、各地域の防災会訓練についても、計画の見直しが行われたことから、例年よりは受講者数は減少したが、見直された計画どおりに講習会及び訓練を開催し、計画どおりの参加者数が受講した。</p> <p>*R3年度の成果指標については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、R2年度と同じ態勢での開催が考えられることを想定しての目標値とした。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	救命率向上のため、一人でも多くの方々に心肺蘇生法やAEDの取扱い、及び応急手当の知識・技術を習得してもらうため、継続事業とする。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	10	10	10	職員とボランティア指導員及び、女性消防団員の協働により講習会を進める。
	業務時間	408	128	200	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)	1,291	408	634		
トータルコスト(A+B)	1,291	408	634		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	消防水利の維持管理事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	消防本部	<b>担当課</b>	栲木消防署

<b>事業目的・概要</b>
<p>火災時に必要な消防水利を常時使用可能な状態にするため定期的に点検し、適正な維持管理に努める。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
すべての消防水利に対する点検率	%	100	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、5月 消防水利点検</li> <li>・6月、7月 消防水利修繕</li> <li>・9月、10月 消防水利点検</li> <li>・11月、12月 消防水利修繕</li> <li>・冬季、凍結防止対策実施</li> </ul>	<p>すべての消防水利について、年次計画に基づき点検を実施し、点検結果を担当課へ報告するとともに、不備な箇所については、補修し適正な維持管理に努めた。</p>	<p>A (予定どおり進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	消防水利を適正に維持管理するために継続する。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)		0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	10	10	10	協働の余地はない。
	業務時間	960	960	960	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		3,038	3,060	3,044	
トータルコスト(A+B)		3,038	3,060	3,044	